

- 医療、余暇などに役立つ図書などを収集
- 障がい者向け資料は、大活字本、録音図書、点字図書などを収集
  - レファレンス資料として、参考資料や専門図書を収集
  - 地域資料・行政資料は、将来に継承する財産として収集
  - 新聞35紙。雑誌300タイトルを収集。デジタル提供も検討
  - CD、DVDなど、新しいメディア対応資料を収集
  - 姉妹都市資料、多文化理解に資する資料を収集
  - 電子書籍は、読み物を中心に導入
- 2 郷土資料の収集・保存を拡充**
- 宮沢賢治、高村光太郎、萬鉄五郎、新渡戸稲造などの資料を収集・保存。閲覧スペースに配架
  - 宮沢賢治に関する資料は、今後の出版資料や未所蔵の古本も積極的に収集。イーハトーブ館が保有している宮沢賢治に関する専門的な研究資料や絶版等入手困難な資料などは引き続きイーハトーブ館で保有
  - 先人や郷土、本市行政資料などを収集・保存
  - 先人に関する図書企画展、イベントなどを開催

**障がいがある人へのサービス**

- 点字資料、大活字本、録音資料などの提供
- 朗読サービスなどの支援
- スノーズレン(人工的な各種感覚の提供)対応部屋の設置
- 車いすで利用可能なフロア配置
- 宅配資料サービスの検討

**妊婦・子育て世代へのサービスの配置**

- 広い通路と余裕ある休憩場所
- 子育て世代の利用を考慮した、書架や座席の配置
- 読み聞かせサービスの提供

**観光客・移住者へのサービス**

- 観光情報の提供を強化
- 本市の自然や歴史などの情報提供

**行政機関へのサービス**

- 行政機関への情報提供
- 予約・リクエストサービスの強化
- 課題解決に役立つ資料の提供

**新花巻図書館の利用方法**

開館時間、貸出点数、貸出期間は、次の案を基本とします。

**開館時間**  
9:30~19:00  
(学習スペースなどは9:00~21:00)  
現花巻図書館...9:00~18:00

**休館日**  
週1日、年末年始、毎月1日、  
蔵書整理点検期間(年1回)  
現花巻図書館...祝日、年末年始、毎月1日、  
蔵書整理点検期間(年1回)

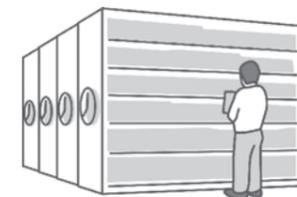
**貸出点数**  
本・ビデオ・DVD・CD・カセット  
など全部で15点以内  
現花巻図書館...本5冊(市内4館で10冊)、  
ビデオ・DVD 1点(市内4館で2点)、CD・  
カセット 3点(市内4館で5点)

**貸出期間**  
3週間(移動図書館は次の運行日まで)  
現花巻図書館...本14日、ビデオ・DVD・  
CD・カセット 7日

**新花巻図書館の蔵書・資料の収集**

花巻市立図書館の現在の蔵書構成を見ると、文学が多く、構成比に偏りがあります。

新花巻図書館の整備に当たっては、高度化、多様化する市民ニーズに対応するため、出版状況や先進図書館を参考に新たな蔵書構成目標を設定。開館に向けて具体的な蔵書計画を策定します。



- 1 広い分野の収集**
- 一般、児童、ティーンズ、高齢者、障がい者など、幅広い世代に対応した分野を収集
  - 一般図書は、読書、生活、調査研究などに役立つ多様な資料を収集
  - 児童図書は、読み物、絵本など興味を広げる図書を収集
  - ティーンズ向け資料は、進学や就職などに応じた資料を収集
  - 高齢者向け資料は、保健、福祉、

- 3 視聴覚資料や電子資料の活用**
- 視聴覚資料と機材を収集・整備
  - デジタルデータの保存と活用
  - 視聴覚ライブラリーの教育教材や機材の保管・活用
  - 専門的資料などをデジタル化



**新花巻図書館の施設と規模**

**施設**

新花巻図書館は「ユニバーサルデザイン(バリアフリーへの対応)」とし、さまざまな人が利用しやすい施設を目指します。

静かに閲覧したい人のためのスペースや、自由に話ができるスペースなどを設置。そのほか個人またはグループで学習ができるスペースや、多人数で生涯学習活動ができる

スペース、音楽や映像などの視聴覚資料を利用できるスペースなども設置します。

また、多目的に活用できるスペースも設置します。



**収蔵能力**

新花巻図書館は資料増加に対応するため、70万冊の収蔵スペースを確保します。利用頻度の低い資料は開架書庫から閉架書庫へ移動し、常に新鮮で魅力的な資料を提供できるようにします。

なお、オープン時の蔵書数は28万冊程度としますが、蔵書構成や財政状況、デジタル化、市の人口などを考慮しながら、収蔵能力や蔵書数を引き続き検討します。

**スペース別面積規模**

新花巻図書館の各施設のスペース別面積規模は、おおむね次のとおりです。

**目安となるスペース別面積規模**

区分	目安となる面積
エントランススペース ▶エントランス▶ラウンジスペース(喫茶など)	200平方メートル程度
開架、閲覧スペース ▶展示・情報コーナー▶案内・サービスカウンター▶資料検索コーナー▶レファレンスサービスカウンター▶書架・閲覧スペース▶視聴覚スペースなど	2,200平方メートル程度
開架書庫スペース	800平方メートル程度
その他スペース ▶学習スペース▶講座・集会・会議室▶高齢者や障がい者などへのサービス対応室▶親子ふれあい室▶多目的ギャラリーなど	800平方メートル程度
図書館業務スペース ▶事務室▶地域・学校図書館サービススペース▶作業スペースなど	500平方メートル程度

**宮沢賢治に関する資料について**

市民から、宮沢賢治の出身地にふさわしい図書館としてほしいなどの意見が多いことから、宮沢賢治に関し今後出版される図書資料はもちろん、未所蔵で購入可能な資料は古本も含め積極的に収集し、地域(郷土)資料スペースにおいて配架する予定ですが、宮沢賢治専用のスペースを設けることも検討します。

また、イーハトーブ館と役割分担をし、現在イーハトーブ館が保有している宮沢賢治に関する専門的な研究資料や絶版等入手困難な資料等は、引き続きイーハトーブ館で保有することとし、図書館で閲覧または貸出できるようシステムの構築を検討します。

